

1 1. 2023 年度の事故・障害などの発生状況

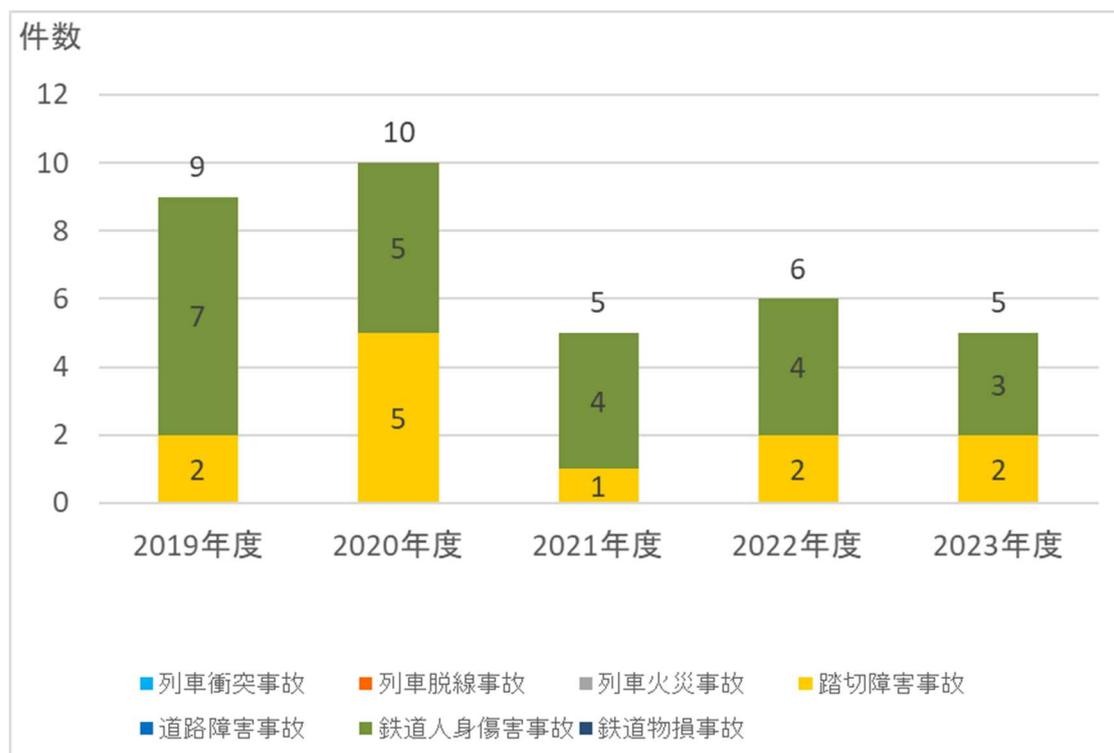
▶ 鉄軌道運転事故

鉄軌道運転事故とは、以下の通り分類された事故です。2023 年度は、踏切障害事故が 2 件、鉄道人身障害事故が 3 件発生しました。その他の鉄軌道運転事故は発生していません。

◆ 鉄軌道運転事故の分類

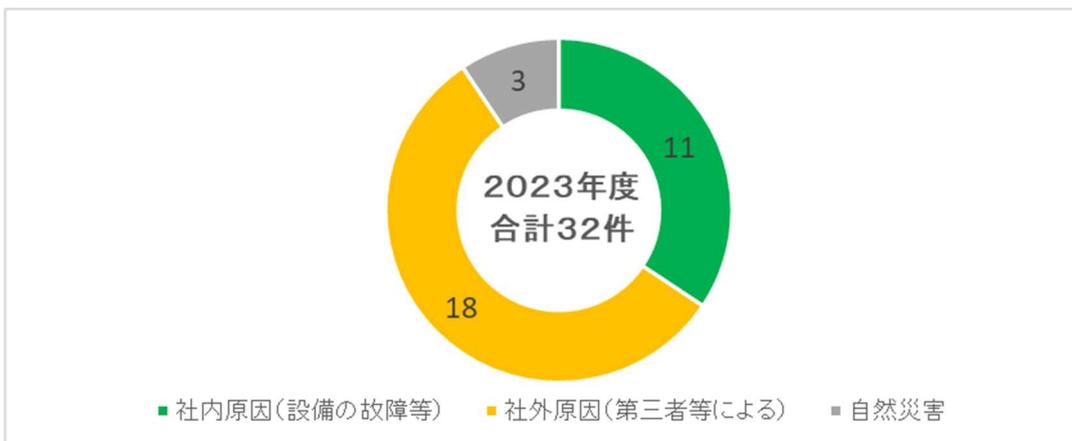
種 類	内 容
列車衝突事故	列車が他の列車または車両と衝突し、または接触した事故をいう
列車脱線事故	列車が脱線した事故をいう
列車火災事故	列車に火災が生じた事故をいう
踏切障害事故	踏切道において、列車または車両が道路を通行する人または車両などと衝突し、または接触した事故をいう
道路障害事故	踏切道以外の道路において、列車または車両が道路を通行する人または車両などと衝突し、または接触した事故をいう
鉄道人身障害事故	列車または車両の運転により人の死傷を生じた事故（上記の事故に伴うものを除く）をいう
鉄道物損事故	列車または車両の運転により 500 万円以上の物損を生じた事故（上記の事故に伴うものを除く）をいう

◆ 鉄軌道運転事故件数の推移（件）



▶輸送障害

輸送障害とは、鉄軌道運転事故以外のもので、列車の運転休止または30分以上の遅延が生じたものをいいます。2023年度は、32件発生しました。



▶インシデント・電気事故

インシデントとは、事故には至りませんでした。事故につながる可能性のあった事態をいいます。電気事故とは、感電死傷事故、電気火災事故、感電外死傷事故、供給支障事故のことをいいます。

監督官庁に届け出ることや社内で周知を図ることにより、措置を確実に講じ事故の再発防止に努めています。

12. 安全投資

2023年度は、鉄道設備投資（実績額）95億円のうち67億円を安全関連設備に投資し、13000系車両新造、変電所移転・更新、ホームドアの新設、電気設備更新などを実施しました。

2024年度は、運転保安度の維持・向上やお客さまのサービス向上などを目的として、総額約144億円の鉄道設備投資を行います。そのうち、約118億円を安全関連設備に投資し、13000系車両新造、運行管理システム更新などを実施する予定です。また、2023年度から導入した「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用して、ホームドアの新設やバリアフリー関連設備の整備を進めています。

2023年度の主な実績	2024年度の主な計画
<ul style="list-style-type: none">・13000系車両新造・寝屋川車庫変電所移転・更新・ホームドアの新設（枚方市駅3・4番線）・連動装置更新・7000系車両のリニューアル・大津線800系保安装置更新	<ul style="list-style-type: none">・13000系車両新造・ホームドアの新設（守口市駅・萱島駅）・京阪線列車運行管理システムの更新・7000系車両のリニューアル